

<p>②医療体制の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神科医の診察を定期的に行い、認知症や精神症状に対し、適切な対応を行う。 ・看取り期の対応を充実するために主治医、看護師が連携し、利用者及び家族の終末期医療ニーズを把握し、同意のもと対応を行う。 	<p>②医師を3名配置し、急変時等については、昼夜問わず、医師と医務課が連携し対応した。</p> <p>精神科医を1名配置し、定期診療を行った。</p> <p>終末期について、家族等の意向に沿って15名の看取り看護を行った。</p>
<p>③防災体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練に夜間地震想定訓練等を盛り込み、防災意識を高めると共に、防災体制の充実を図る。 ・定期的な防災訓練、防災設備の定期点検を実施する。 	<p>③避難訓練を6回実施した。</p> <p>防火管理委員会において、避難訓練等の検証を行い防災体制の充実を図った。</p> <p>専門業者による消防設備点検を5月と11月に行った。</p>
<p>④事故、感染症等の防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故防止委員会を定期開催し、ヒヤリハット及び事故報告書を分析し事故防止体制を強化する。 ・感染防止委員会を定期開催し、感染症の予防及びまん延の防止体制を強化する。 	<p>④事故防止と感染症防止について、園内研修を実施した。</p> <p>事故防止委員会において、各フロアより事故報告を行い、対策等について検討を行った。</p> <p>感染防止委員会において、周辺地域の感染症の発生情報等を共有し、職員に対し注意喚起を行った。</p> <p>手洗い・うがいの徹底を図るとともに、手指用消毒液を導入し感染症防止体制を充実させた。それにより利用者のインフルエンザ発症者はなかった。</p>
<p>⑤虐待の防止及び早期発見・拘束ゼロの徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尊厳保持・虐待防止・身体拘束防止委員会を定期開催し、身体拘束ゼロ、虐待ゼロを継続するため、研修会を実施するとともに職員への啓蒙活動を行う。 	<p>⑤尊厳保持・虐待防止・身体拘束防止委員会を年4回開催した。</p> <p>ユニット毎の3ヶ月目標を設定し尊厳保持・虐待防止・身体拘束防止に取り組んだ。八王子市主催の高齢者虐待防止に関する研修に4名の職員が参加した。</p>
<p>⑥建物、設備の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の安全衛生委員会において、設備等の不備や故障がないか確認を行うとともに定期的に建物・設備の点検を実施する。 	<p>⑥衛生管理者が、危険箇所が無い定期巡回により館内をチェックした。</p> <p>月1回の安全衛生委員会において、設備不具合等について、各委員からの報告により確認した。</p>
<p>(2) 社会・利用者ニーズへの的確な対応</p>	
<p>①個別サービス計画について、組織的な見直しを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の機能訓練計画書、栄養ケアマネジメント計画書、24シートを作成し、計画にそったサービス提供を行う。 ・サービス提供が効果的に行われているかを定期的に評価し、個別ケアの質を高める。 	<p>①ケアプラン方針会議を開催し個別サービス計画を組織的に見直しを行った。</p> <p>個別の計画書を作成し、家族等の同意のうえサービス提供を実施した。</p> <p>サービス計画を評価し、ケアプラン会議において、ご家族等の意向等を確認し、関係職員がサービス内容について検討することで、サービスの質の向上に繋がった。</p>

<p>②利用者・家族の意見、要望の把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族や関係者に、ケアプラン会議に出席していただき、施設サービスの理解を深めていただくように努める。 ・利用者が園長に、直接意見が出来る機会を設ける。 ・家族と園との懇談会を開催し、意見や要望を的確に捉える。 ・アンケート調査を実施し、意見・要望の把握に努める。 	<p>②家族等に出来る限りケアプラン会議に出席していただき、利用者及び家族等の意向を反映したサービス計画を作成する事で、施設サービスについて、理解をしていただくことが出来た。</p> <p>園長が、毎日各フロアを巡回し、利用者が直接意見を言える機会を設けた。</p> <p>家族懇談会を2回開催し、家族等の意向を直接聞き取る機会を設けた。</p> <p>12月の第三者評価受審時に、利用者及び家族にサービスに対する調査を実施した。</p>
<p>③各種行事等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お花見会、敬老会、夏祭りなど、季節感のある全体行事を実施する。 ・利用者ニーズをもとに、ユニット活動を実施する。 ・利用者クラブ活動等の充実を図る。 	<p>③お花見会、敬老会、夏祭りの法人行事に加え、誕生会や外出活動をユニット毎に実施し、利用者及び家族等に喜んでいただけた。</p> <p>各部署の職員が、クラブ活動等を分担し実施する事で、利用者と接触の少ない職員も利用者と交流する事が出来た。</p>
<p>④サービス計画に基づくサービスの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選択食や季節を感じられる等、きめ細かな食事提供を行う。 ・機能訓練を実施し、日常生活動作の維持改善を図る。 ・個別のケア計画にもとづき、入浴、排せつ等のケアを行う 	<p>④施設サービス計画書等に基づき、個々の要望に応じたサービス提供を実施した。</p> <p>日頃より旬の食材を使い、季節を感じて頂けるような献立を作った。特に行事の際には、選択食を取り入れることにより、利用者に喜んでいただけた。</p> <p>利用者に継続的に機能訓練を提供することで、日常生活動作の維持改善に繋がった。</p>
<p>(3) 事業の安定的・効率的な運営</p>	
<p>①経営感覚の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月、定例会において前月の収支を明確にし、経営状態を常に把握する。 ・東京都社会福祉協議会等からの他施設の情報等や青陽園との経営状況の違いなどを学習し、経営感覚を向上させる。 	<p>①定例会や幹部会で、毎月の収支報告を行い、各部署の担当者が、収支の状況を理解する事が出来た。</p> <p>東京都社会福祉協議会等からの情報に加え、青陽園事務室との積極的な交流により、収支等の検討を行う事で、経営の安定を図った。</p>
<p>②業務の簡素化・効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務委員会において、業務の効率化を積極的に検討し推進する。 ・委員会や各種会議の時間を予め設定し、事前調整等により時間内に終了する。 ・入所者管理システムの情報を共有し活用する事により、業務の効率化と簡素化を図る。 	<p>②業務委員会において、マニュアルの更新を行い、業務内容の見直しを行った。</p> <p>24時間シートの作成過程や、ケース記録の記入方法についても検討が行われ、より精度の高いものになるよう取り組んだ。</p> <p>各部署で共通の情報システムを使用することで、必要な情報を共有する事が出来た。</p>

<p>③入居を計画的に安全に進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入所前に施設の説明を行い、利用者及家族が、不安なく入所出来るようにする。 ・目標の利用率を確保するため、退所後の新規入所及び入院時のベッド利用を、円滑に行う。 	<p>③重度者の方を積極的に受け入れた。</p> <p>入所前に生活相談員から、重要事項説明書をもとに丁寧な説明を行う事により、利用者及び家族等の不安が解消された。</p> <p>空床が発生した場合は、待機者と即日連絡を取り、入所日について相談すると同時に、入所日までの期間は短期利用者を積極的に受け入れた。</p>
<p>(4) 職員の知識・技術の向上と職場の活性化</p>	
<p>①知識・技術の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設内研修を月2回実施する。 ・職員へ介護職員初任者研修の資格取得を促す。 ・資格要件加算等に必要な各種資格を取得する際の支援体制の充実を図る。 ・東京都社会福祉協議会主催のアクティブ福祉イン東京に実績成果を発表する。 	<p>①内部、外部研修を計画的に受講させた。</p> <p>年間の研修計画を作成し、月2回の施設内研修を実施した。</p> <p>青陽園介護職員初任者研修へ1名の職員が受講し終了した。</p> <p>東京都による「現任介護職員国家資格取得支援事業」を活用し、支援の充実を図った結果、介護福祉士国家試験に3名合格した。</p> <p>今年度のアクティブ福祉イン東京に、機能訓練指導員と短期入所担当介護員の2名が発表を行った。</p> <p>「認知症カフェ・さくら」を開始するにあたり「認知症介護者家族会ファミリー」と「八王子ケアラズカフェ・わたぼうし」の2ヶ所を見学し、新しい活動の参考とした。</p>
<p>②職員の確保・定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人内施設と協力し、新卒者向け採用説明会の開催等により、人材確保を図る。 ・職員が業務に対する充実感、達成感等を持てる職場環境の整備を行う。 	<p>②青陽園と共同で、新卒向けの就職説明会を実施した。</p> <p>来年度職員採用について、福祉専門学校や高等学校への情報提供を行った。</p> <p>4月の人事異動により、新しい経験や考え方等が持ち込まれ、職場環境に活気が生まれた。</p>
<p>③法人内施設との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青陽園で実施する職員の確保・育成などのための介護職員初任者研修(年1回)実施に積極的に講師を派遣する。 ・青陽園を始め、各施設と行事や研修等を通し、積極的に交流を行い、情報の共有による一体感を醸成する。 	<p>③青陽園との意見交換会を実施したことで、青陽園との違いや、共通点を認識することが出来た。</p> <p>介護職員初任者研修に、第二青陽園から講師を7名派遣した。</p>

(5) 地域、後援会との連携

<p>① 地域等連携事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青陽園、地域包括支援センター川口と共催し、「施設見学」「いきいき健康相談」「認知症カフェ」を年4回実施する。また、介護予防教室を年10回行い、地域の介護予防に取り組む。 ・園の全体行事、法人主催の夏祭り・防災訓練・チャリティバザー等とおして地域、後援会との交流を図る。 ・広報誌の発行やホームページ等により、適切な情報提供に努める。 ・五町会との懇談会に参加し、園の情報提供及び地域の情報収集に努める。 	<p>①「施設見学」「いきいき健康相談」「認知症カフェ」をセットにし年4回実施し参加者延62名であった。また、介護予防教室を年20回実施し、延521名の参加があった。地域に貢献できるように、これを継続していく。</p> <p>後援会と地域住民の方の協力を得て、また法人内の事業所と連携し、夏祭り、チャリティバザー、敬老会等を開催した。</p> <p>広報委員会において、広報誌の作成を行い、敬老会では、日常生活の様子や季節ごとの行事等のスライドショー上映を行い家族等に見ていただき好評を得た。</p> <p>近隣五町会との懇談会に園長が参加し、地域の情報や要望等情報収集に努めた。</p>
<p>②ボランティアの積極的な受入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア同士の意見交換会やボランティアとの懇談会を開催し、積極的な受け入れを行う。 	<p>②ボランティアの人数も増え、利用者とも顔なじみになる等、良好な関係が築かれている。3月にボランティア懇談会を実施しボランティアの方に謝意を伝えるとともに意見交換、交流を図った。</p>
<p>③高齢者関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都、八王子市との情報交換等を積極的に行う。 ・東京都社会福祉協議会、八王子市社会福祉協議会等との連携を図る。 ・定期的に八王子施設長会に参加し、他施設との情報交換を行う。 	<p>③運営規程変更、介護報酬加算届など市及び都担当窓口と確認、情報交換を綿密に行った。</p> <p>東京都社会福祉協議会主催の研修や情報交換会に参加した。</p> <p>八王子施設長会に参加し、他施設との情報交換や交流を行った。</p>